

令和3年

災害の記録

鹿児島県

はじめに

令和3年中の災害では、死者1人の人的被害があり、災害による被害総額は、約175億円となりました。

主なものとしましては、7月の豪雨災害により、住家被害をはじめ、道路、河川、農地や用排水路及び農作物や農業施設などで多大な被害が生じました。

また、8月の豪雨災害により、1名の方が亡くなられたほか、住宅の一部破損などの住家被害をはじめ、公共土木施設や農作物などで被害が生じました。

自然災害による被害を受けやすい本県においては、防災対策を県政の重要課題のひとつとして平成20年4月に施行した「県防災対策基本条例」に基づき、県民が自らの身は自ら守る「自助」、地域の住民がお互いに助け合って地域の安全を確保する「共助」、市町村、県及び防災関係機関が行う「公助」を基本として、各主体がそれぞれの役割と責任のもとに連携・共同して防災対策を着実に行うこととし、各般にわたる様々な施策の積極的な推進に取り組んでいるところです。

今後とも県民の生命、財産を守るため、市町村や防災関係機関等と緊密な連携を図りながら災害の未然防止に万全を期して参りたいと考えています。

ここに、令和3年中に県内で発生した災害を収録しましたので、今後の防災対策の参考にしていただければ幸いです。

最後に本誌の編集に当たり、御協力いただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

令和5年3月

鹿児島県危機管理防災局

災害対策課長 福永 和久

目 次

第 1	災害の概況	・・・・・・・・	1
第 2	被害総括表	・・・・・・・・	2
第 3	降雨・台風災害等		
1	1月9日の大雪	・・・・・・・・	7
2	4月2日の大雨	・・・・・・・・	13
3	5月7日の大雨	・・・・・・・・	18
4	5月15日～16日の大雨	・・・・・・・・	23
5	5月17日の大雨	・・・・・・・・	31
6	5月20日～21日の大雨	・・・・・・・・	36
7	5月27日の大雨	・・・・・・・・	44
8	6月3日～4日の大雨	・・・・・・・・	49
9	6月5日～7日の大雨	・・・・・・・・	57
10	6月12日の大雨	・・・・・・・・	64
11	6月13日の大雨	・・・・・・・・	70
12	6月14日の大雨	・・・・・・・・	75
13	6月16日の大雨	・・・・・・・・	80
14	6月28日の大雨	・・・・・・・・	86
15	7月1日～2日の大雨	・・・・・・・・	91
16	7月2日の大雨	・・・・・・・・	97
17	7月9日～13日の大雨	・・・・・・・・	102
18	7月15日の落雷	・・・・・・・・	115
19	7月15日の雹害	・・・・・・・・	120
20	7月18日～19日の大雨	・・・・・・・・	125
21	7月20日の台風第6号	・・・・・・・・	131
22	7月25日の大雨	・・・・・・・・	139
23	8月1日の大雨	・・・・・・・・	144
24	8月7日の大雨	・・・・・・・・	149
25	8月8日～9日の台風第9号	・・・・・・・・	154
26	8月11日～19日の大雨	・・・・・・・・	166
27	8月19日～20日の大雨	・・・・・・・・	187
28	8月20日の台風第12号	・・・・・・・・	195
29	9月11日の大雨	・・・・・・・・	204
30	9月13日～15日の大雨	・・・・・・・・	209
31	9月17日の台風第14号	・・・・・・・・	217
32	11月30日の豪雨	・・・・・・・・	225
33	12月5日の地震	・・・・・・・・	230

34	12月9日の地震	232
35	12月25日の強風	234
第4 火山の活動状況及び被害状況		
1	桜島	239
2	霧島山（新燃岳，御鉢，えびの高原（硫黄山））	244
3	薩摩硫黄島	252
4	口永良部島	256
5	諏訪之瀬島	264
第5 参考資料		
1	令和3年災害気象名別被害額一覧表	277
2	令和3年災害年報	279
3	令和3年局地激甚災害指定	285
4	令和3年気象警報等発令状況	286
5	令和3年地震発生状況	337
6	令和3年火山情報発表状況	338
7	令和3年避難勧告等発令状況	340
8	令和3年台風発生状況（台風の発生数と接近・上陸数）	342
9	令和3年火災発生状況	344
10	令和3年出火原因別火災件数	345
11	鹿児島県におけるプロパンガス事故の発生状況	346
12	噴火警戒レベルとは	348
13	特別警報について	349

令和3年の鹿児島県内の天気の特徴

令和3年は、年間を通して気温の高い日が多かった。8月中旬は前線の影響で記録的な大雨となった。台風の接近数は九州南部2個（平成3.9個）、奄美地方2個（平成4.3個）と、台風の接近は少なかった。

1月は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。ただ、気圧の谷や寒気の影響で雪や雨の日があり、9日を中心に大雪となった所があった。鹿児島市で3センチの積雪を観測。最高気温は8日に屋久島で5.8度を観測し、「日最高気温の低い方から」の1月の極値を更新した。月平均気温は鹿児島9.2度（平成比+0.7、以下カッコ内は平成比）、種子島11.5度（0.0）など、薩摩・大隅、種子島・屋久島地方で平成並みか平成より高い地点が多かった。奄美市は14.4度（-0.4）と、奄美地方は平成並みか平成より低かった。鹿児島市では27日にウメが開花した（平成より4日早い）。

2月は1月同様に高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、18日は強い寒気の影響で大雪となった所があった。鹿児島市で2センチの積雪を観測。月平均気温は鹿児島12.1度（+2.3）、種子島14.2度（+2.2）、名瀬16.1度（+0.9）など、すべての地点で高く、平成よりかなり高い地点があった。溝辺では9.4度と、「月平均気温の高い方から」の2月の極値を更新した。

3月は天気が数日の周期で変わり、前線や湿った空気の影響で大雨となった所があった。日最大1時間降水量は、中之島52.0ミリ（28日）、名瀬64.5ミリ（30日）を観測し、3月の極値を更新した。月平均気温は鹿児島15.6度（+3.1）、種子島16.3度（+1.9）、名瀬18.8度（+1.7）など、「月平均気温の高い方から」の3月の極値を更新した地点が多くなった。鹿児島市では17日にソメイヨシノが開花（平成より9日早く、観測史上2番目に早いタイ記録）、30日に満開（平成より5日早い）となった。

4月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線や湿った空気の影響で大雨となった所があった。1日には日最大1時間降水量、天城64.5ミリを観測し、4月の極値を更新した。月間の日照時間は、鹿児島184.6時間（110%）、種子島165.5時間（110%）、名瀬119.7時間（111%）と平成より多くなった。月平均気温は鹿児島18.0度（+1.1）など、平成よりかなり高い所があった。

5月は低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多くなった。20は阿久根で日降水量が200ミリを超えるなど、大雨となった日もあった。奄美地方は5日ごろに梅雨入り（平成より7日早く、昨年より12日早い）し、九州南部は11日ごろに梅雨入り（平成・昨年より19日早く、統計開始以降2番目に早い）した。月降水量は鹿児島470.0ミリ（229%）、種子島322.5ミリ（138%）、名瀬479.5ミリ（172%）と平成より多く、阿久根629.0ミリ（334%）など月降水量の6月の極値を更新した所もあった。

6月は梅雨前線や湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多く、大雨となった所もあった。日最大1時間降水量は、天城66.0ミリ(13日)、尾之間88.5ミリ(16日)を観測し、6月の極値を更新した。月降水量は鹿児島500.5ミリ(88%)、種子島361.0ミリ(65%)など、薩摩・大隅、種子島・屋久島地方で平年並みか平年より少ない地点が多かった。一方、名瀬492.5ミリ(115%)など、奄美地方は平年並みか平年より多かった。

7月は、前半は梅雨前線、後半は台風第6号の影響を受け、大雨や荒れた天気となった日があった。10日はさつま町などで日降水量が400ミリを超える記録的な大雨となった。20日から24日は台風第6号が大東島近海から沖縄本島の南海上を東へ進み、先島諸島の北の海上を北上。最大瞬間風速は、沖永良部27.3m/sを観測。月降水量は鹿児島222.5ミリ(61%)、種子島204.0ミリ(78%)、名瀬204.0ミリ(95%)で、平年並みか平年より少なかった。奄美地方は3日ごろに梅雨明け(平年より4日遅く、昨年より17日早い)し、九州南部は11日ごろに梅雨明け(平年より4日早く、昨年より17日早い)した。

8月は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、台風第9号や10号が接近し大雨や荒れた天気となった日もあった。台風第9号は8日に枕崎市付近に上陸し、最大瞬間風速は、枕崎26.3m/sを観測。台風第10号は5日から6日に奄美の南海上を東へ進み、最大瞬間風速は、沖永良部で25.2m/sを観測。中旬は前線や湿った空気、上空の寒気の影響で曇りや雨となり、日降水量は喜入245.5ミリ(16日)、阿久根207.5ミリ(17日)、東市来207.5ミリ(17日)を観測し、8月の極値を更新した。月降水量は中甕998.5ミリと「月降水量の多い方から」の年間の極値を更新した。そのほかの月降水量は鹿児島804.0ミリ(358%)など月降水量の8月の極値を更新した所もあった。

9月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、秋雨前線や台風第14号の影響で大雨や大荒れとなった日があった。台風第14号は東シナ海を北上し、17日に福岡県福津市付近に上陸。台風接近前から前線が九州南部付近に停滞し、大雨となった所があった。11日は鹿屋で日最大1時間降水量81.5ミリを観測し、9月の極値を更新した。月平均気温は鹿児島27.0度(+0.7)、種子島26.8度(+0.6)、名瀬27.5度(+0.5)で平年より高く、喜界島では28.1度と「月平均気温の高い方から」の9月の極値を更新した。

10月は高気圧に覆われ晴れた日が多かった。前半は高温となり、後半は冷たい空気が流れ込み気温の低い日が多かった。21日の最高気温は、肝付前田14.5度、中種子17.1度と「日最高気温の低い方から」の10月の極値を更新した所があった。最高気温は鹿児島33.5度(1日)、さつま柏原32.9度(3日)、東市来32.9度(11日)で、「日最高気温の高い方から」の10月の極値を更新した。一方、21日の最高気温は、肝付前田14.5度、中種子17.1度と「日最高気温の低い方から」の10月の極値を更新した。

11月は天気が数日の周期で変わり、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日があった。大雨となった所もあり、6日の日降水量は伊仙 108.0 ミリ、中種子 108.0 ミリと、日降水量の11月の極値を更新した。また、寒気が流れ込みやすく、月平均気温は鹿児島 15.5 度 (-0.7)、種子島 17.6 度 (-0.6) と平年より低く、名瀬 19.3 度 (-1.1) と平年よりかなり低かった。

12月は高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日があった。非常に強い寒気が流れ込んだ日もあり、鹿児島市では5日に初霜(平年より10日早く、昨年より13日早い)を観測し、26日は初雪(平年より11日早く、昨年より4日早い)と初氷(平年より11日遅い、昨年より8日遅い)を観測した。月平均気温は鹿児島 10.5 度 (-0.4)、種子島 13.1 度 (-0.7)、名瀬 16.2 度 (-0.5) と平年並みか平年より低かった。

1年間の平均気温は、鹿児島 19.3 度 (+0.5)、阿久根 18.0 度 (+0.5)、枕崎 18.8 度 (+0.5)、屋久島 19.9 度 (+0.3)、種子島 20.2 度 (+0.4)、名瀬 21.8 度 (0.0)、沖永良部 22.9 度 (+0.3) と「平年並み」か「平年より高かった」。

年間降水量は、鹿児島 2782.0 ミリ (114%)、阿久根 2944.5 ミリ (132%)、枕崎 2797.5 ミリ (120%)、屋久島 4265.0 ミリ (92%)、種子島 2283.5 ミリ (90%※欠測含む)、名瀬 2975.0 ミリ (101%)、沖永良部 1807.5 ミリ (97%) と、薩摩、大隅地方で「平年より多かった」。

年間の日照時間は、鹿児島 2038.6 時間 (105%)、阿久根 2060.7 時間 (106%)、枕崎 2012.9 時間 (105%)、屋久島 1485.5 時間 (98%)、種子島 1886.7 時間 (104%)、名瀬 1331.6 時間 (100%)、沖永良部 1891.2 時間 (102%) と「平年並み」か「平年より多かった」。

第2 被害総括表

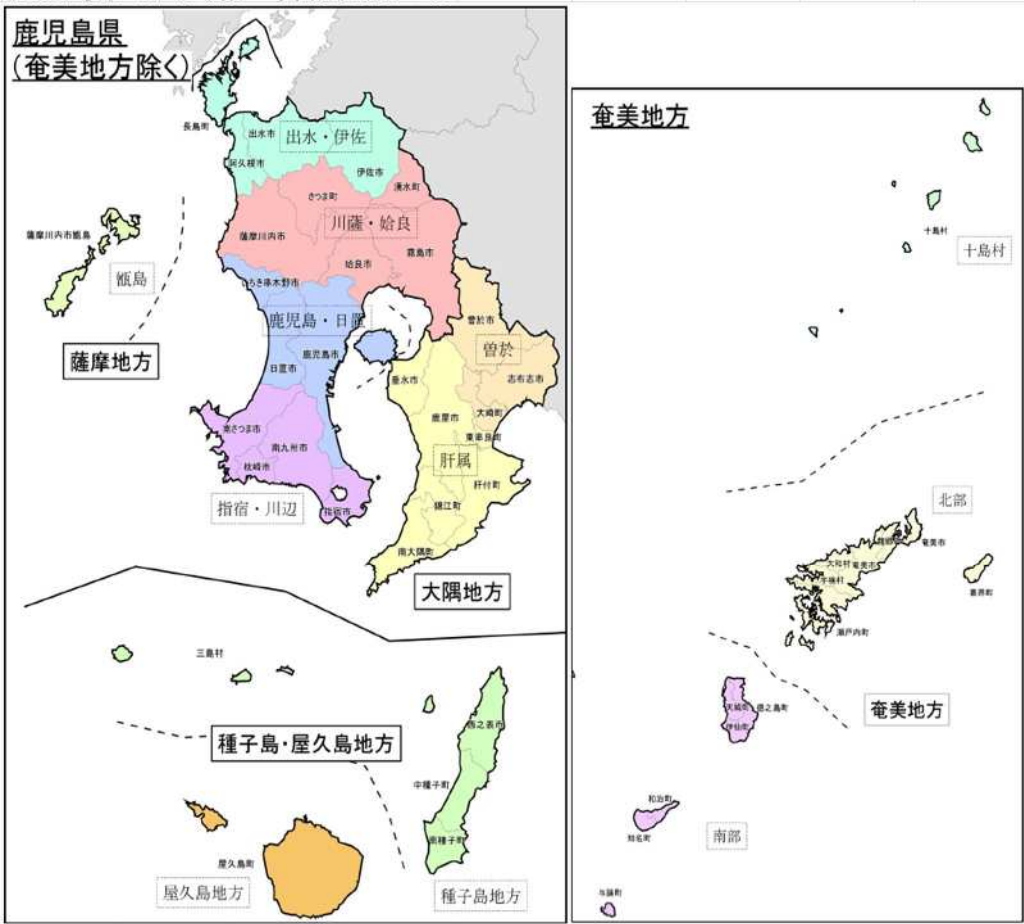
区 分		被害数	単位	被害額(千円)	区 分		被害数	単位	被害額(千円)		
人 的 被 害	死 者	1	人		衛 生 福 祉 関 係 の 被 害	病院・診療所等	1	棟	—		
	行方不明		人			水道施設	120	箇所	—		
	重 傷 者		人			清掃施設		〃			
	軽 傷 者		人			福祉施設		〃			
	合 計	1	人			そ の 他		〃			
							合 計	121		—	
住 家 被 害	全 壊	棟 数		棟	農 作 物 の 被 害	水 陸 稲	122	ha	48,761		
		世 帯 数		世帯		麦 類		〃			
		人 員		人		雑穀いも豆類	170	〃	172,164		
	半 壊	棟 数		棟		野 菜	75	〃	47,899		
		世 帯 数		世帯		果 樹	0	〃	413		
		人 員		人		工 芸 作 物	2,229	〃	58,747		
	一 部 破 損	棟 数	8	棟		飼料用作物		〃			
		世 帯 数	8	世帯		花 き	1	〃	293		
		人 員	20	人		桑		〃			
	床 上 浸 水	棟 数	68	棟		茶	0	〃	115		
		世 帯 数	79	世帯		そ の 他		〃			
		人 員	141	人		合 計	2,597	〃	328,392		
	床 下 浸 水	棟 数	198	棟		耕 地	田	1,030	箇所	1,581,000	
		世 帯 数	182	世帯			農 (流出埋没)	366	ha		
		人 員	353	人			畑	360	箇所	569,000	
	合 計	棟 数	274	棟		(流出埋没)	122	ha			
		世 帯 数	269	世帯		農 業 用 の 施 設	た め 池	4	箇所	45,000	
		人 員	514	人			頭 首 工	43	〃	248,300	
			水 路	590	〃		1,042,600				
非 住 家 被 害	公 共 建 物	棟 数	3	棟	係 の 被 害	道 路	551	〃	1,170,100		
		全 壊						橋りょう	3	〃	20,000
		半 壊						堤 とう		〃	
	そ の 他	棟 数	20	棟		揚 水 機		〃			
		全 壊						そ の 他	2	〃	570,000
		半 壊						そ の 他		〃	
				合 計	2,583	〃	5,246,000				
				家畜等の被害	3	件	11,830				

区 分		被害数	単位	被害額(千円)	区 分		被害数	単位	被害額(千円)	
農 業 生 産 用 資 材 施 設	耕種関係	164	棟	57,702	土 庫 木 負 関 担 係 対 象 の 象	国 交 省 港 湾 農 水 省 漁 港	県工事	1	箇所	11,036
	畜産関係	16	〃	23,313			市町村	〃	〃	〃
	蚕糸関係	〃	〃	〃			小計	1	〃	11,036
	園芸関係	49	〃	43,698			県工事	〃	〃	〃
	その他	〃	〃	〃			市町村	〃	〃	〃
	合計	229	〃	124,713			小計	〃	〃	〃
水 産 関 係 の 被 害	漁船	1	隻	772	被 害 の 象	合計	790	〃	9,663,581	
	漁具	〃	統	〃		その他	265	〃	264,322	
	施設その他	1	件	45		総計	1,055	〃	9,927,903	
	合計	2	〃	817		〃	〃	〃	〃	
鉱工業関係被害		2	件	2,465	学 校 関 係 の 被 害	高等学校	4	校	5,557	
商 業 関 係 の 被 害	店舗	〃	棟	〃		中学校	〃	〃	〃	
	その他施設	45	件	377,739		小学校	2	〃	21,852	
	商品	16	件	76,419		その他	1	〃	873	
合計	61	〃	454,158	合計	7	〃	28,282			
林地(崩壊地)		12	箇所	〃	その他の公共施設被害		13	箇所	36,795	
山 林 関 係 の 被 害	施 被 設 害 等	治山施設	5	〃	29,500	鉄 道 関 係 の 被 害	鉄軌道関係	26	件	—
		林道	386	〃	1,285,720		線路工作物関係	1	〃	—
		林産施設	1	〃	300		停車場工作物関係	〃	〃	〃
	林産物	〃	ha	〃	機械関係		〃	〃	〃	
	合計	404	箇所	1,315,520	建築物関係		〃	〃	〃	
土 木 関 係 の 被 害	国 土 交 通 事 務 省 市 町 村 工 事 管	河川	306	箇所	4,776,977	被 害 の 象	電気通信関係	〃	〃	〃
		砂防	〃	〃	〃	合計	27	〃	—	
		道路	34	〃	623,252	電気通信関係被害	〃	回線	〃	
	急傾斜	〃	〃	〃	電力関係被害	〃	戸	〃		
	橋りょう	〃	〃	〃	水道関係被害	〃	〃	〃		
	海岸	〃	〃	〃	警察関係の被害	〃	件	〃		
	その他	〃	〃	〃	交通安全施設の被害	〃	〃	〃		
	小計	340	〃	5,400,229	その他の被害	1	〃	750		
	河川	192	〃	1,931,992	崖くずれ	60	箇所	—		
	道路	255	〃	2,241,606	被 害 総 額	〃	〃	17,477,625		
	橋りょう	1	〃	67,773		〃	〃	〃		
その他	1	〃	10,945	〃		〃	〃			
小計	449	〃	4,252,316	〃	〃	〃	〃			

鹿児島県内の気象官署・アメダス地点図



鹿児島県の注意報・警報細分区域



内容に関する説明

1. 雨の降り方の表現

- 1 時間雨量が 30 ミリ以上 50 ミリ未満の場合、「激しい雨」
- 1 時間雨量が 50 ミリ以上 80 ミリ未満の場合、「非常に激しい雨」
- 1 時間雨量が 80 ミリ以上の場合、「猛烈な雨」

また、期間の雨量が 100 ミリ以上を「大雨」という。

2. 表中の数値の補足

網掛けしている数値は「資料不足値」を意味する。利用に関しては注意を要する。

3. 平年値について

1991年～2020年の平均値を使用している。

4. 観測値の極値について

2021年までの値を使用している。

九州南部および奄美の梅雨入りと梅雨明け

年	九州南部		奄美	
	梅雨入り	梅雨明け	梅雨入り	梅雨明け
2000年	5月26日ごろ	7月15日ごろ	5月26日ごろ	6月21日ごろ
2001年	5月21日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	6月23日ごろ
2002年	6月10日ごろ	7月21日ごろ	5月8日ごろ	6月30日ごろ
2003年	6月9日ごろ	7月22日ごろ	5月13日ごろ	6月27日ごろ
2004年	5月29日ごろ	7月11日ごろ	5月14日ごろ	6月24日ごろ
2005年	6月11日ごろ	7月15日ごろ	5月5日ごろ	6月27日ごろ
2006年	5月26日ごろ	7月25日ごろ	5月11日ごろ	6月22日ごろ
2007年	6月1日ごろ	7月18日ごろ	5月26日ごろ	6月28日ごろ
2008年	5月28日ごろ	7月6日ごろ	5月22日ごろ	7月2日ごろ
2009年	6月2日ごろ	7月12日ごろ	5月18日ごろ	7月5日ごろ
2010年	6月12日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	7月15日ごろ
2011年	5月23日ごろ	7月8日ごろ	4月30日ごろ	6月22日ごろ
2012年	5月30日ごろ	7月23日ごろ	5月13日ごろ	6月29日ごろ
2013年	5月27日ごろ	7月8日ごろ	5月10日ごろ	6月29日ごろ
2014年	6月2日ごろ	7月16日ごろ	5月5日ごろ	7月4日ごろ
2015年	6月2日ごろ	7月14日ごろ	5月19日ごろ	7月6日ごろ
2016年	5月24日ごろ	7月18日ごろ	5月16日ごろ	6月18日ごろ
2017年	6月6日ごろ	7月13日ごろ	5月13日ごろ	6月29日ごろ
2018年	6月5日ごろ	7月9日ごろ	5月27日ごろ	6月26日ごろ
2019年	5月31日ごろ	7月24日ごろ	5月14日ごろ	7月13日ごろ
2020年	5月30日ごろ	7月28日ごろ	5月17日ごろ	7月20日ごろ
2021年	5月11日ごろ	7月11日ごろ	5月5日ごろ	7月3日ごろ
平年	5月30日ごろ	7月15日ごろ	5月12日ごろ	6月29日ごろ